

Sky Seminar



女性の社会進出と ソーシャルワーカーの誕生

NHKで再放送されていた「アヌ あしながおじさん」にはあつていた二人の娘も大好きで毎回録画して時間を見つけては3人で観るそんな日を過ごした「あしながおじさん」は20世紀初頭のアメリカの作家が生み出した児童文学作品である。孤児院で育った主人公ジューディが幸運にも資産家に文学の才能を見出され、彼の援助によって大学へ進学し自立をめざすというストーリーである。姿を現さない後見人をジューディはあしながおじさんと呼び、物語は「あしながおじさん」が結婚して終わるといつか一種のシンデレラストoryなのだが興味深いのはここに描かれた20世紀初頭のアメリカの「福祉」の状況、女性の在り方である。

たとえばジューディは孤児院で経験した青婦人たちの慈善活動を自己満足の偽善的なものとして毛嫌いする。いわゆる「ノーブレスオブリージ」といって高貴な身分にある者の義務として慈善活動を行うことは上流階級のステータスの象徴でもあった。ジューディは自立する為に小説家になる夢に向かって努力するが、彼女の親友サリーは続編では孤児院の施設長になる。当時、高学歴の中産階級の女性たちが進む将来は結婚か、教育・伝道、そして慈善活動を組織化した社会事業（社会福祉の前身）の道しかなかった。

貢献しようとする「female profession」によって創出されたのである。ジューディが嫌った慈善活動は個々に行われるため濫救漏救が問題になり、また一方的な施与では対象者の自立につながらないとの認識が高まり、ロンドンで慈善組織協会(COS)が誕生したのが19世紀後半、それはアメリカに飛び火し20世紀になると全土に広がっていた。COSでは友愛訪問員たちが貧困家庭を訪問し、彼らの生活状況を調査し自立の援助を行うという方法がとられた。この家庭訪問は科学的な社会調査として発展し、そのケース記録の集積からソーシャルケースワークを体系化した専門職としての確立に寄与したのがM.リッチモンドという女性であった。彼女は1917年に『社会診断』という著書を出版し、ソーシャルワーカーの養成に尽力したが、この新しい職業をめざしたのは圧倒的に女性が多かった。医師や弁護士といった専門職の道が男性に占有されていた時代にあつて、ソーシャルワーカーは女性の新たな専門職として誕生したのである。

*「孤児院」は歴史的用語として使用している。

今井小の実

関西学院大学
人間福祉学部教授

いまいこの
社会福祉学博士。専門は社会福祉、特に福祉史、シニョー女性福祉。大学卒業後、企業に就職、結婚、出産を経て退職。専業主婦を経て同志社大学大学院文学研究科社会福祉学専攻博士前期課程入学、同博士後期課程修了。2003年博士号取得。大阪体育大学健康福祉学部助教授を経て2008年より関西学院大学人間福祉学部准教授、2010年より現職。2006年日本社会福祉学会学術賞受賞。社会福祉思想としての母性保護論争「差異」をめぐって論議』2005年、トランス出版。



西宮上ヶ原キャンパス
〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1番155号
神学部 文学部 社会学部 法学部 経済学部 商学部 人間福祉学部 国際学部(2010年4月新設)

西宮聖和キャンパス
〒662-0827 兵庫県西宮市岡田山7番54号
教育学部

神戸三田キャンパス(KSC)
〒669-1337 兵庫県三田市学園2丁目1番地
総合政策学部 理工学部